

宝達志水町ケーブルテレビ放送番組審議会 会議録

開催日時 令和4年12月21日(水)
10:20～11:30
場 所 さくらドーム21第一会議室

出席者

委 員 松井委員、森田委員、廣正委員、村田委員
事務局 大下課長、定免課長補佐、川端主事

欠席者

委 員 深井委員、栗原委員、寺崎委員

(事務局)

ただ今から、宝達志水町ケーブルテレビ放送番組審議会を開催いたします。この審議会は放送法第6条において、「放送事業者は、放送番組の適正を図るため、放送番組審議会を置くものとする」とされており、それに基づき開催するものです。

はじめに、「前町区長会副会長の中西委員」、「前町民生児童委員の藤本委員」、「前町PTA連合会副会長の北村委員」、「前町校長会の金谷委員」の退任に伴う委員の改選がありました。委嘱状の交付につきまして、本来であれば事前にお渡しすべきところ、大変恐縮でございますが、お手元に配布してあります委嘱状により代えさせていただきます。ご了承のほど、よろしく願いいたします。

それでは、まず始めに寶達町長よりあいさつをお願いいたします。

【寶達町長挨拶】

【町長公務のため退席】

【委員紹介】

【事務局紹介】

(事務局)

次にこの会の会長の選出をしたいと思います。

(資料1)宝達志水町ケーブルテレビ放送番組審議会条例 第5条「審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により選任する」とありますが、どなたかおいでますか。

(事務局)

特におられないようですので、事務局の方で指名させていただいてよろしいでしょうか。

【委員 了承】

ありがとうございます。

それでは会長を廣正委員にお願いしたいと思います。みなさんよろしいでしょうか。

【委員 了承】

(事務局)

ありがとうございます。会長となられる廣正委員は会長席の方に移動いただいてよろしいでしょうか。

【廣正会長、会長席に移動】

(事務局)

早速ですが、廣正会長から一言挨拶を頂きまして、会長が議長になって議事を進行することになっていきますので、議事の進行をよろしくお願いいたします。

【会長挨拶】

(会長)

今ほど事務局からもあったとおり、放送番組審議会の条例によって、会長が議長を務めることとなっておりますので、本日議長役を務めさせていただきます。よろしく申し上げます。

それではレジュメに従って進めていきます。4概要説明の(1)町ケーブルテレビ放送番組審議会の条例についてと(2)令和4年度自主放送番組(さくらチャンネル)について、事務局の方から説明をお願いします。

(事務局)

それでは町ケーブルテレビ放送番組審議会について説明させていただきます。

【宝達志水町ケーブルテレビ放送番組審議会条例について】(資料1)

(資料1に基づき審議会条例、放送番組基準、編成に関する基本計画を抜粋して説明)

(事務局)

引き続き、概要説明(2)の自主放送番組さくらチャンネルについて説明します。

【自主放送番組(さくらチャンネル)について】(資料2)

さくらチャンネルの番組枠について、現在、さくらチャンネルでは5つの番組枠を設けています。

(1) ぐるり宝達志水 30分枠

・地域のニュース

学校や保育所の行事、地域や町の行事を放送(1週間更新、2本ずつ)

・コーナー番組

ワンダフルグループ、この本読んでみんち、クローズアップ(2週間更新)

(2) 暮らしの情報便 30分枠

・行政情報番組(随時制作)

・町の行事案内（1週間更新）

（3）ほっと劇場 60分枠

各種機関が制作した番組を放送

宝たちの夢、宝中祭、日本ケーブルテレビ連盟が無料で公開している映像、町が所有している映像やNHKの過去映像（2週間更新）

（4）さくらチャンネルアーカイブ 60分枠

過去に放送した同月のニュースをピックアップして放送しているほか、過去に放送した企画番組の放送（2週間更新）

（5）議会放送 ノーカットでの録画放送の為放送時間は未定

町議会定例会の様子を録画で放送

次に、放送回数についてご説明させていただきます。

1週間のうち、ぐるり宝達志水は平日は1日11回、土日は1日12回、くらしの情報便は平日に10回、土日は12回、ほっと劇場は毎日4回、アーカイブは毎日3回放送しています。

各番組が放送時間に満たなかった場合、文字放送を放送しています。また、平日は金沢ケーブルが提供している番組を放送しており、12時30分と20時からは北國新聞ニュース、15時30分からはまちスタ330を放送しています。

自主放送番組の説明は以上となります。

続きまして、放送スケジュールについてご説明させていただきます。

【さくらチャンネル放送スケジュール】（資料3）

今年度の放送実績、及び今後の放送予定は表の通りです。

<新型コロナウイルスに伴う番組制作への影響について>

昨年度までは新型コロナウイルスによる番組制作への影響が大きく、行事の中止や延期、規模の縮小が多く見られましたが、今年度は広く行事が開催されるようになったこともあり、地区の秋祭りや宝浪漫マラソンなど、数年ぶりに開催された行事を取材することができるようになりました。今後もコロナウイルスの感染状況などを見ながら取材に取り組んでいきたいと思えます。

また中学校の部活動紹介も例年行っておりましたが、感染状況を鑑み、中学校と協議のうえ撮影は見送ることとなりました。

この本読んでみんちは、例年各学校からおすすめの本の紹介をしてもらっていますが、昨年度に引き続き、実施の要望があった宝達中学校のみ放送する予定です。来年度からは感染状況を見ながらとなりますが、小学校でも撮影を実施したいと考えています。

<番組制作について>

ぐるり宝達志水のニュース、企画番組については基本的に全て外部に委託して制作しています。くらしの情報便も新しい番組を制作する際は業者に委託、ほっと劇場は宝たちの夢を委託、議会放送はすべて業者に委託して制作しています。

<加入率・加入促進について>

10月末現在、町内のケーブルテレビ加入者数は2,027世帯、全世帯に占める加入率は41.4%となっております。志雄地区の山間部の方では、ほぼ全世帯が加入している状況です。総務省発表の資料によると、石川県全体の加入率が42.9%となっている為、町の加入率は県の加入率を下回っている状況ではございますがかけ離れて低い数字ではないと考えています。

概要説明は以上となります。ありがとうございました。

(会長)

ありがとうございました。今ほど事務局から概要説明(1)(2)までを説明して頂きました。何か質問・意見はございますか。

(委員)

今ほど、加入率41.4%と説明がありましたが、これを高めるためには番組で地域を紹介することも大事だと思うが、一番加入者が期待しているのは情報のスピードで、町の重大なことがあった場合、すぐ分かるようになってほしいという期待が大きいと思います。

例えば、今回行われた選挙は無投票となりましたが、ケーブルテレビでは当落が決定した情報をいつあげましたか。

(事務局)

それについては、総務課のほうで出していないのではないかと思います。企画情報課でもとりわけ選挙結果が無投票になったという情報は出していません。

(委員)

こちらの勘違いかもしれませんが、選挙の結果は報道、インターネットとケーブルテレビで結果を出すとなっていたと思います。

(事務局)

後ほど確認します。

(委員)

ケーブルテレビに加入している人は、町の情報なので結果が出るのはケーブルテレビが一番早いと思って見えています。それがいつまで経っても情報が流れてこないのはどうなのでしょう。情報の源なので、町の情報を何でも出せとは言えませんが、そういった重大な情報を出さないとケーブルテレビに入っている意味がないと思います。逆にケーブルテレビに入っていたら知りたい情報がすぐ入ってくるという体制でないと増加が見込めないと思います。

(委員)

今回の選挙では、同様のことを思いました。17時になったら無投票かどうか結果が出ていると思い、さくらチャンネルを入れましたが情報が出ておらず、18時に改めて入れたが出ていませんでした。

(委員)

北國新聞のネットの情報が早かったです。情報源にしながら分からないというのは問題だと思います。

(会長)

NHKの地震速報やニュース速報のようなテロップをイメージすればよいのかと思うのですが、そういったことは可能ですか。

(事務局)

文字放送で画面上にL字で情報を出すことができます。前回までの選挙では出していますが、今回は無投票となったため、確かに出ていないかもしれません。本来は出すべきだったと思います。

(委員)

無投票であれ、結果が決まったということを知らせてあげる必要があると思います。

(事務局)

みなさんが知りたいと思う情報は今後積極的に出していきたいと思います。

(会長)

テロップみたいなものは入れられるのですか。

(事務局)

文字放送で入れられます。選挙の場合、誰に何票入って当選したというような情報を提供しています。

(委員)

前回の選挙のときなど、情報が流れていたと思います。

(委員)

情報を発信する設備があるのですから、一分でも早く提供してあげることが加入率にも影響すると思います。

(事務局)

今後、解消に努めたいと思います。

(会長)

41.4%の加入率が高いか低いかは分からないが、伸びていないのですか。

(事務局)

最初の頃から見ると、頭打ちのような状態となっています。

新たに家を建てられた方が加入されるケースはありますが、空き家になったり誰も住んでいないからという理由で辞めていく方も多いため、年々加入者が減少している状況となっています。

(委員)

開始当初は旧志雄地区の山間部で共同アンテナの代わりとして使用されていたと思いますが、今のデジタル放送になってからはアンテナで受信することができるのではないのでしょうか。

(事務局)

昨年度、電波の受信調査を行いました。旧志雄地区でいうと聖川区や散田区を境にして、テレビの電波は受信ができない状態となっています。

(会長)

A委員は、旧志雄地区の山間部在住だがケーブルテレビに加入していますか。

(委員)

開始当初からケーブルテレビに加入していますが、2年前の豪雪の際、ケーブルテレビ、電話、インターネットや携帯電話など全て不通になりました。情報がほとんど入ってこず、携帯電話のパラボラアンテナを積んだ車が来て携帯は通じるようになりました。

それ以外は全部ケーブル線で電話やネットも使用しているため、断線してしまうとテレビはもちろん情報が途絶えてしまいます。テレビの取材などもありましたが、こちらは1週間テレビが通じておらず、どんな状況かわかりませんでした。

大雪のために倒木で線が切れたので、ケーブル線だけで情報を支えているというのも不安があります。

通常何もないうきはテレビの電波がしっかりと来るのできれいに写ります。アンテナのときは、NHKなどは富山の放送が入っていた。

(会長)

区では全員が加入しているのですか。

(委員)

全員加入していると思います。昔は共同アンテナがありましたが、現在はなくなったため、全員加入しています。ケーブルだけに頼っているのも少しリスクがあるということ、2年前の豪雪を経験して思いました。

(会長)

当初は集落の皆さんで入りましょうなどの声かけがあったのでしょうか。それとも町会の話し合いでみんなで入ろうとなったのでしょうか。

(委員)

おそらく町会だと思います。NHKからも案内があった様子でした。

(会長)

そう思うと平野部での加入率は低いようですね。

他に何かありますか。

(委員)

学校の代表としてせっかくの機会なのでお話をさせていただきます。うちの学校だと3回ほど取材に来ていただいています。いつも取材に入ってもらえたらいいと思うのですが、取材の依頼というのは、こちらからその都度お願いするような形が多いのでしょうか。町の事業の場合、担当者から連絡があって依頼されていることもあるかと思いますが、学校の行事など、どのような流れとなっていますか。

(事務局)

ケースバイケースではありますが、学校から来てほしいと依頼されることもありますし、学校の行事予定を共有してもらっているので、行事を見て取材してほしいとお願いすることもあります。

(委員)

こちらで気がつけばよいのですが、この行事にケーブルテレビで取材に来てもらえばよかったなど後から気づく場合もあります。

年度当初に年間計画がほぼ決まっているので、取材に来て欲しい行事があるかといった調査などを出していただいて、まとめて年度当初に出しておけば、忘れていたということもないかと思いますが、そういったことも実施していただけるとありがたいなと思います。決まっていればよいのですが、決まっていないものもありますので一概には言えませんが、その都度連絡する必要もなくなると思います。

(事務局)

中身を練って、どういう風にしていくか検討させていただきたいと思います。

(会長)

説明を聞いていても内容が多岐に渡りますね。各委員の意見をまた取り入れていただければと思います。

今ほどの概要説明について、他に何かありましたら発言をお願いします。

ないようでしたら、次へいきます。5の議件について、事務局からご説明をお願いします。

(事務局)

では、引き続きまして議件の放送番組編成スケジュールの変更案についてご説明させていただきます。

【放送番組編成スケジュールの変更案について】(資料4)

今回、委員の皆さまにお諮りいただきたい変更案の概要としては、ぐるり宝達志水とくらしの情報便の統合を行い、それに付随して発生する番組スケジュールの変更を行うものです。

現状については先ほど資料2で説明したとおりですが、変更理由としては、現状、ぐるり宝達志水はニュース等を毎週放送しています。30分という放送時間枠の都合上、ニュースを掲載できる本数や時間に制限があり、ニュースをより深掘りしたり、今以上にさまざまなニュースを取り上げることが難しいことがあります。

また、くらしの情報便は放送する映像の種類が少ないことから、似たような内容を繰り返して放送することが多く、重要度の高いものと低いものを混在して放送している状況が課題となっています。優先的に放送すべき内容に絞って放送することで、その時期に必要な情報を入手しやすい番組を提供したい

と考えています。

また、番組の時間枠を伸ばすことで放送内容に対し柔軟な対応ができるようになると考えています。

この放送枠の変更時期は令和5年4月1日以降を予定しており、毎週金曜が更新日となることから直近の4月7日から変更を行いたいと考えています。

新番組の名称については、番組名未定としておりますが、承認が得られた後に検討を進めるため、未定とさせていただきます。候補としては、全く新しい名前をつけた番組にするか、番組名として視聴者の皆さまに定着している「ぐるり宝達志水」という名称を継続して使用するかのいずれかになると考えています。

次に、放送スケジュール案についてです。原則、現在ぐるり宝達志水とくらしの情報便を放送している時間帯に新番組を当て込むスケジュールを検討しています。

例外的な変更箇所としては、19時のほっと劇場、21時のぐるり宝達志水・くらしの情報便の部分の放送時間の変更です。

変更理由としては、18時19時に続けて放送することで、夕食のご飯時に町の行事などに家族や子ども、知り合いが出ているニュースを見てもらいやすくするためです。

議件の説明については以上となります。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

(会長)

今ほど説明がありましたが、簡単にいうと放送内容や時間、番組名を変えるということですかね。

それについて、皆さんのご意見をお伺いしたいと思います。内容はいろいろありますが、意見などありますか。

(委員)

あまり見ないので、意見がなかなか出てきません。

(会長)

タイトルの変更や食いつきやすい内容にするなど何かあれば意見をお願いします。これは4月7日から変更予定ですか。

(事務局)

その予定です。

(会長)

ここで言った意見は反映されるのでしょうか。

(事務局)

そのように反映します。

(委員)

質問してもよいですか。放送期間の更新頻度が2週間とありますが、2週間に長くなるのですか。

(事務局)

2週間に一度の更新という風に考えています。

(委員)

更新頻度が長くなるということは、新しい情報に対応するのが難しくなるのではないのでしょうか。発信したいと思うものが遅くなってしまう懸念があるのでないですか。

(事務局)

例えば、具体的な例を挙げると、選挙の前に期日前投票や選挙のお知らせを告示日から1週間ないしは2週間、差し込んで放送することがあります。そのように最新の情報を入れないといけないケースも当然あるため、原則2週間としています。そのため、基本的に2週間更新としますが、入れないといけない情報がある場合には、都度更新を行う予定としています。

(委員)

それであれば大丈夫です。ありがとうございます。

(委員)

一回見たら、また一緒なものを放送しているからとチャンネルを変えたり、一度見て満足してしまい、見てもらえなかったりするようなことにならないですか。2回も3回も見ることがないと思うのが正直な意見です。

(事務局)

事務局側の思いとしては、ニュースの時間や本数が増える想定をしています。今はニュースを2本放送していますが、ニュースが5本6本と増える想定ですので見逃したニュースの見直しや、知り合いや子どもがニュースに出ていることで何度か見たいとなることも考えられます。そういったことから、更新を長めにしたいと考えています。

(委員)

関係者は何回も見て楽しめると思うが、そうでない人はまた一緒なものだとなってしまうのではないのでしょうか。

(委員)

回覧板などを載せるまでいなくても、こういう回覧があるというような情報は載せられないのでしょうか。人が少ない班はすぐに回り終わるが、多い班は行事の日にちが終わってから回ることがあります。

興味がある情報ならすぐに見てくれると思うので、事前にこんな情報が載っているなど伝えられれば回るのも早くなると思います。

(会長)

個人個人の趣向というか、回覧板と同様に映像も興味のあるところには食いつくが、そうでないものには食いつきが悪くなると思います。見ている人は小学生から老人まで多岐にわたるため、どこに重きを置くかがなかなか難しいと思います。

承認が下りたら、スケジュール等このままの体制で進めるのでしょうか。

(事務局)

今のところはそういう想定をしていますが、あくまで案のため、何か意見があればお伺いして反映したいと思っています。

(会長)

番組のタイトルを変えるのも可能でしょうか。といってもすぐに出てくるものではないですが。

(事務局)

変えることも考えたいですし、先ほどお伝えしたように、ずっと見ていただいている方に「ぐるり宝達志水」というタイトルが定着しているので、それをガラッと変えるのもどうかという思いもあります。

(会長)

統合番組はぐるり宝達志水とくらしの情報便を合併した形になり、ほっと劇場はそのまま、さくらチャンネルアーカイブもそのままということ認識でよいですか。

(事務局)

そのとおりです。

(会長)

これは議件なので、みなさんに採決を取る必要があります。変更案に問題なければ、挙手で採決を取りたいと思います。

【全員挙手】

(会長)

賛成多数のため、これで進めてください。

それでは、次第に従って次の質疑応答に進みます。案内文章と一緒に送付したDVDを見た感想などがあれば、発言して下さい。

(委員)

ディスカバリーウオークで宝達川の歴史を紹介するのは非常によかったと思います。私は出身が七尾でこの町で育ったわけではないのですが、子どもの時から電車で金沢へ行く時に宝達駅を通過してすぐに宝達川をくぐる時のことを思い出し、歴史もわかったので、個人的にすごくよかったと思う。

小学校のプログラミング教室や野球大会の映像では、今の教育の様子が分かって時代が進んでいるということがよくわかりました。私が住んでいる地区では、小さい子どもがいないので小学校などの様子を見てみると、現場の様子や子どもたちの教育の状況が分かってよかったです。

(委員)

また学校関係の話ですが、小学校では地域のことを勉強する機会が多く、ディスカバリーウオークの

ような資料があるとそういった勉強にも活かせると思います。子どもたちもそういう勉強すると、知らなかったということが案外多い。世代が変わってくると地域のことを知らない方も増えてきますので、このように地域のことを詳しく紹介するのは、地域のことをより好きになる子どもたちを育てるには大事な取組だと思います。

学校の教材にも使えるようなものを今後も作っていただけると、現場としては大変ありがたいと思います。

(会長)

歴史的なものを掘り起こしていくのもとてもよいと思います。また、学校の行事も取り上げることで子ども達の様子が分かってよいと思います。イベント系の映像のほうが食いつきはよいと思うが、そうでないものも取り上げ続けていくことは大事だと思います。

日頃思っていることを言わせていただくと、普段テレビ番組を見ていて食いつきがいいと思うのは、学校同士がダンスで競うとか吹奏楽部が全国大会を目指すような番組があり、そういったものが個人的に好きです。子ども達が熱心に取り組んでいる過程を撮影していき、大会を見せている。大会だけだと、どこの高校かと感情移入できないが、特定の高校や個人を先に取材しておいて、高校の様子や大会の様子を放送しています。そうすると特定の高校に感情移入してしまっているので、熱心に見てしまう。

そうすると番組の食いつき方は大分違ってくると思います。撮る側は大変だと思うので出来るかどうかはわからないが、ただイベントを流すよりは映像に厚みが出るかなと思います。

(事務局)

そういったところも参考にして番組制作に当たりたいと思います。学校側へのお願いや調整も出てくると思いますので、そういった部分を含めて検討していきたいと思います。過程を含めて撮っていくと当然一回の撮影では終わらないと思いますので。

(会長)

マラソンだったら、町内の誰かに事前に走っているところを撮らせてもらったりするのはどうでしょうか。全面的に出なくてもクローズアップしたり、最後にこの人は何位でしたという風な構成にすれば、その人も見るし家族も見てくれたりすると思います。

例えばの話なので、この通りには思いませんが、ただイベントを流すよりも面白い映像になると思います。

(事務局)

ご意見を参考にし、検討させていただきます。

(会長)

ありがとうございます。大変貴重な意見が多く出ました。今回出た色々な意見を参考にケーブルテレビに反映してもらえればと思います。

全体を通して、他に何か意見はありますか。ないようでしたら、最後に事務局から連絡事項があれば、お願いします。

(事務局)

この審議会は年に1回の開催を予定しています。そのため、次回は来年度11月下旬から12月下旬を予定しております。

(会長)

ありがとうございました。議事が最後まで終わりましたので、ここで進行を事務局に返します。

(事務局)

円滑な進行ありがとうございました。

以上をもちまして宝達志水町ケーブルテレビ放送番組審議会を閉会いたします。長時間に渡り、ありがとうございました。

11時30分 終了